

中学部 2 年校外学習

令和 5 年 11 月 8 日

11月8日（水）、生活単元学習「横手博士になろう」の学習で、校外学習を行いました。今回の校外学習では、横手市役所から蛇の崎橋周辺の散策を通して、横手の歴史を知ることが目的としました。

当日は横手市役所職員の方の案内で、江戸時代の地図にも載っていた橋や街道、建物などを見学しました。城下町ならではの道のつくり、江戸時代から今もなお使われている橋、横手川を境に武士と町人の住む地域が分かれていたこと、武士が住んでいた地域にはあちこちに柿の木が植えられていることなど、たくさんのお話を学びました。

生徒からは「上の橋は江戸時代からあった橋だということが分かった」「片野家に由緒ある柿の木があった」「『羽黒の柳』は船着き場の目印だったことが分かった」「蛇の崎橋の妖怪の伝説が聞けてうれしかった」などの感想が聞かれました。これまでになにげなく見ていた建物や橋、道などにも歴史があったことが分かり、有意義な学習となりました。

